



平成30年2月8日  
大阪県人会



平成30年2月9日  
富士山議連



平成30年2月13日  
山梨県森林協会祝賀会



平成30年2月14日  
北富士演習場対策地元協議会



平成30年2月14日  
国体スキー壮行会



平成30年2月15日 県児童生徒連絡協議会 議長と語る会

皆さんの活動の状況などを聞かせてもらい、皆さんが、日頃から、各学校の児童会や生徒会のリーダーとして、助け合い活動やボランティア活動などを、みんなで話し合い、協力して取り組んでいることがよく分かりました。

本日、皆さんから報告いただいた事項は、どれも大切なことばかりです。皆さんの願いが少しでも早く実現できる

よう、議会の場で活発な議論をしていきたいと思っています。

皆さんが、児童会や生徒会活動を通して学んだことは、とても大切に貴重なことです。この気持ちを忘れず、皆さんの生まれた、ここ山梨に恩返しができるような人材となって欲しいと思います。



## 富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会総会



平成30年2月15日 富士山火山減災対策期成同盟会

近年、全国各地で局地的な集中豪雨や火山噴火、地震等頻繁に発生するようになってきており、災害に巻き込まれ、住民の尊い生命が失われております。

大きな被害は、日頃から住民と関係機関が一体となって、万全の対策を講じておくことで、ひとたび自然の驚異に晒されたとしても、被害を最小限に食い止めることが

出来ます。

皆様方には、地域社会と関係機関が一体となった防災への取り組み、さらには、県民への普及啓発に力を注いでいただいており、改めて感謝申し上げます。県議会としても全力で取り組んで参る所存であります。

明日の山梨を元気に！

もっともっと

The 126th generation  
Chairman  
of the  
Yamanashi prefectural  
assembly

## 第126代県議会議長に 選任をいただきました 県政進展を目指す議会運営に 全力で取り組みます

私は去る平成29年12月定例県議会において、第126代県議会議長に選任されました。昨年行われた議会改革による議長選挙の下での3人目の選出で、県議3期目の最終年を前にした私にとって誠に光栄と感じております。平成30年を迎えた2月定例会では、早速、県議会の責任者として議会運営に当たらせていただきます。

議長拝命を受けての2月議会では、「本県の伝統や文化を重んじ、心の温かみを感じられる議会運営に取り組んでいきたい」との所信表明をさせていただきました。とりわけ平成30年度は後藤県政の最終年でもあり、県議会での議論は一層重要なものとなると痛感しております。

今、本県でも少子高齢化による人口減少対策はじめ、地域経済の振興、福祉、教育などの課題は山積しております。

議会運営におきましては、私の所属する会派の立場を離れて、各種課題解決へ向けての、全議員のご意見を取りまとめて、現在も進行中の議会改革にも取り組んでいく決意です。

地元富士北麓・道志の皆様にも、議長としての私の活動へのアドバイスをいただければ幸いです。

山梨県議会議員

白壁 賢一

山梨県議会議員

白壁 賢一  
活動レポート  
【発行元】白壁 賢一

Vol.39  
2018/3

平成30年2月定例議会にて



山梨県議会議員  
白壁 賢一 【しらかべ けんいち】

1960年生まれ。93年に33歳で旧河口湖町議に初当選、3期務める。2003年に富士河口湖町議に当選し2期。この間、議長などを歴任。07年に山梨県議会議員に初当選。現在3期目。

お気軽にご意見をお聞かせください。

「白壁賢一」で検索してください！

白壁 賢一

検索

TEL 0555-73-3737 FAX 0555-73-3757

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津1505

白壁 賢一 公式サイト: <http://www.shirakabekenichi.jp/>

白壁 賢一 E-Mail: [Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp](mailto:Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp)



昭和天皇も籠に揺られて  
精進湖から御坂越え

1582年、前回に紹介した現代流”イチゴパンツ”の年です。この年4月、織田信長は武田家を滅亡に追い込んだ甲斐の国制圧の、わずか2カ月後の6月2日に、本能寺の変で帰らぬ人となりました。戦の後、甲斐から、本国・安土城への帰途、徳川家康の世話を受けながら本栖湖畔で一泊して、駿河の国に向かったのが、「中道往還」という古道でした。

『甲斐国志』によると「中道往還」は「駿河三条ある中間なるが故に(中道と呼べり)」とあり、その命名の由来が記されています。「中道」は甲斐の国から駿河の国へ向かう「駿州往還」「鎌倉往還」ルートの中にあることが命名の理由とされています。歴史的には、古代甲斐の国の政治・文化の中心が釜無川(甲府)以東にあったことから、縄文・弥生時代から駿河の国に向かう最短距離のルートとして「文化の道」として栄え、特に鎌倉時代には甲斐源氏の武田信義・安田義定らの武将、戦国時代には武田信玄、織田信長、徳川家康らの名将が往来した古道でもありました。戦国時代には軍用道路として警戒が厳しく、本栖と古間には関所も設けられていました(以上、富士河口湖町刊「古の小径」から)。

1582年の武田家滅亡、本能寺の変の慌しい動きは、その戦国時代の一つの風景でした。そして江戸時代に入ると、徳川幕府による新たな「伝馬制」が敷かれ、中道往還は、駿河と甲府盆地をむすぶ最短ルートとして沼津を中心とする海産物、甲府盆地からの農産物運搬幹線道路として、戦国武者が往来する「軍用道路」から、生活資材を流通させる「産業道路」へと変身していったのです。

「伝馬」(てんま)とは各道中の宿駅ごとに備えた輸送用の駄馬のことです。大化の改新の頃には既に国内の各郡衛にはそうした馬が備えられていたそうです。そして戦国時代に入ると各大名が軍用用の伝馬制の整備に力を注いだとされ、中でも甲斐の武田家の伝馬制度(永禄3年・1560年甲州伝馬の制)は他大名の模範とされ、江戸時代の寛永年間(1624～1643)には主要運搬制度として全国に整備されたといわれます。

今も、甲州の特産品としてグルメファンに人気の高い「アワビの煮貝」は、この産業道路・中道往還の伝馬からの贈物とも言われています。

沼津から馬の背に乗せられて甲府盆地に向かった海産物の一つ「アワビ」は、腐蝕防止のため醤油をまぶされたといえます。アワビ輸送の道程はおよそ20里(約80キロメートル)。一昼夜かけて、ゆりゆりと馬の背に揺られ、甲府に着く時刻には、ほどよく醤油の塩分と香りが沁み込み、あのまろやかな食感が出来上がったというのが甲斐の特産品「アワビの煮貝」の誕生伝説として伝えられています。何百年の時空を超えて今も健在な甲斐の特産品です。

往還道の最高地点は、現在の精進湖トンネルの上に位置する乙女峠です。

峠には「生魚の二十里を走る郭公鳥(ほととぎす)」という石碑がひっそりとたたずみ、今はハイキングコースとなっている往還最頂部の往時を忍ばせてくれます。この「生魚」にはアワビも含まれていたことも想像させられます。

時代は下って大正11年。この年10月3日、当時皇太子殿下だった昭和天皇は約1週間の日程で御殿場から入県され、富士五湖をご遊覧された後、甲府と峡東地方をご視察して帰京されました。今ではあまり知られていませんが、このときの殿下の入甲ルートが中道往還でした。当時は、道路整備もされていない歴史の道を籠ののって、山梨県側の往還の起点・右左口村(現在の甲府市中道町右左口)に到着した際には、特別仕立ての御輿風の椅子に座って、村の若者に担がれて入村したスナップ写真が残されています。

さらに時代は下り、昭和45年(1970)には、県道甲府精進湖有料道路が駿河湾地域を甲府から駿河湾地域を結ぶ道路として開通。県営としては5番目の有料道路として開通、その後、御坂トンネルと同様に無料化され甲府盆地と富士北麓地域を結ぶ物流と観光の主要道路として重要な役割を果たしているのがご承知の通りです。以後も道路整備は続けられ平成に入ると、甲府・酒折から旧石和町小石和、旧八代町、旧芦川むらから御坂山系を越えて河口湖畔の大石地区に通じ、日本尊命の東征路だったという神話にある「若彦路」に若彦トンネルも開通しました「歴史の道」が現代に引き継がれています。



2018 &gt; 2019

## 議長就任あいさつ

議長就任に当たりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。  
ただいまは、多数の皆様御御推挙により、山梨県議会・第二百二十六代議長に御選任を賜り、厚く御礼申し上げます。

このことは私にとりまして誠に身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げますとともに、この重責を痛感している次第であります。  
先程、望月勝前議長の退任のあいさつがありましたが、民主的、且つ円滑な議会運営に對しまして、心から敬意を表するものであります。

さて、所信表明会でも申させて顶きましたが、議長職を拝命し、まず、伝統や文化を重んじ、こころの温かみを感じられる議会運営を行って参りたいと思っております。

まずは、議会の融和を積極的に推進して参ります。具体的には、諸派を含む各会派との意見交換の場を新たに設けるなど議長として汗をかき融和の促進を図ります。

所信表明会でお伝えしました、私の議会改革案につきましては、ご承認頂いたものとして、以下、改めてお伝えをさせていただきます。

検討を進めていく項目を具体的に申し上げますと、

- 県議会での積極的なペーパーレス化の推進
- 決算委員会や常任委員会などへのインターネット中継
- 県民や議員が傍聴する機会を増やすため、常任委員会の日程の分散化
- 若者の投票率向上のための十八歳高校生の模擬議会の開催
- 議会事務局の法制能力機能の充実・強化
- 国際交流の更なる促進
- 新聞報道等の報道により、初めて議員が情報を知るような状況を回避するため、知事執行部との意思疎通が図れるような新たな取り組み等々改めて、この議場に於て明言をさせていただきます。

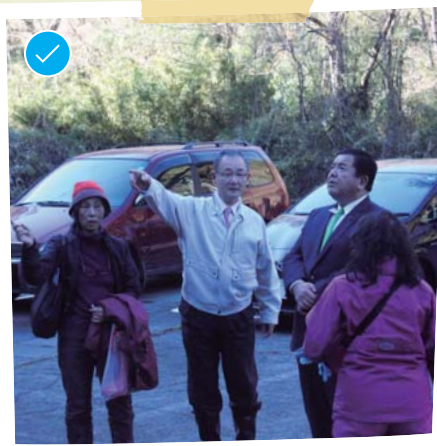
目的に向かって、困難をも、ものともせず、臆目もふらず勇往邁進の精神で、目的達成のため専心することをお願いいたしまして、就任の挨拶といたします。

平成29年12月18日

山梨県議会議長 白壁 賢一

## Memorial Photo

Kenichi Shirakabe



平成29年12月25日 桂川・相模川清掃



平成29年12月26日 共同募金・緑基金



平成30年1月5日 護国神社参拝



平成30年1月5日 新年互礼会



平成30年1月7日 富士河口湖町成人式



平成30年1月10日 商工会連合会新年互礼会



平成30年1月11日 町村会新年互礼会

平成30年1月10日  
菊池・押切オリンピック壮行会

菊池選手と押切選手には、これまでの厳しい練習とたゆまぬ精進により、日本を代表して今大会に出場されるわけでありです。  
特に本県ゆかりの選手が、晴れの国際舞台で見事

な活躍ぶりを見せてくれるのは県民にとっても誇りであり、大きな励みであると思います。  
菊池選手、押切選手には、万全の体調で競技に臨んでいただきたいと思います。



平成30年1月11日 県立中央病院屋上給油施設開設式



平成30年1月11日 いのちの推進会議



平成30年1月12日 議会改革検討委員会



平成30年1月13日 道志村出初式



平成30年1月15日 国体壮行会

私は世界文化遺産登録された霊峰富士の麓であります。富士河口湖町で生まれ育ち、幼少時より、短い夏は野球部、長い冬はスピードスケートの選手としてウィンタースポーツに慣れ親しみました。  
厳しい練習を通じて、私の「己に厳しく、己に勝つ限界を極める」

という、不屈の精神を培うことができたと感じております。  
皆様方には是非ともフェアプレーの精神をもって、日頃鍛えた力と技を存分に発揮いただき、熱いプレーにより、多くの感動を呼ぶことを期待します。



平成30年1月15日 南都留婦人会



平成30年1月18日 大阪維新の会万博陳情



平成30年1月17日 女性団体連絡協議会



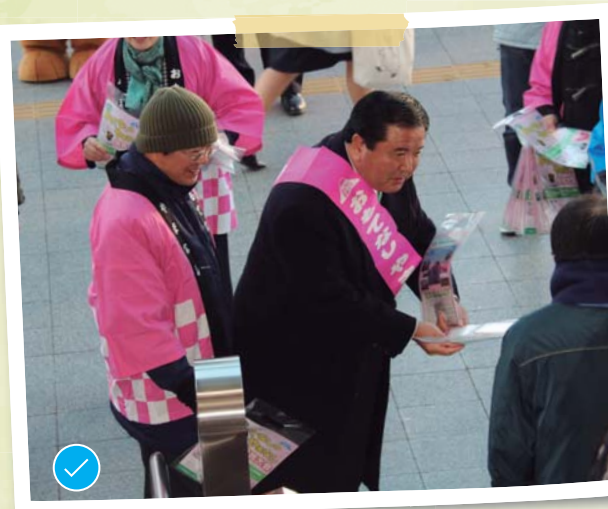
平成30年1月18日 山梨県警察年頭視閲式



平成30年1月22日 山梨県連合婦人会



平成30年1月23日 山梨県人会新年互礼会



平成30年1月26日 おもてなし週間街頭キャンペーン

本県には、世界遺産「富士山」をはじめ、四季折々の素晴らしい景観や、独自の伝統文化などを楽しむことができます。数多くの観光名所があります。  
皆さま方が、本県を訪れる国内外からのお客様を温かく迎え、「おもてなし」の心で接することで、こうした本県の魅力はますます高まってまいります。  
皆さま方には、これらも積極的な「おもてなし」の推進にお力添えをお願いいたします。



平成30年1月24日 山梨県機械電子工業会新年賀詞交歓会



平成30年1月24日 山梨県行政書士新年賀詞交歓会



平成30年1月25日 極真空手野沢歩生さん優勝報告



平成30年1月27日 山中湖富士山雪まつり



平成30年1月28日 富士の国山梨国体



平成30年1月31日 FMふじやま



平成30年2月7日 北方領土返還運動